

本資料では大地震が発生した場合の留意事項を整理しています。緊急事態に備え、事前にお読みいただくとともに、定期的に読み返すようお願いいたします。

大地震(関東地域で震度5強以上)が発生した場合は、大学ウェブサイトからの情報を発信しますので、随時確認してください。



地震発生時の対応

大きく揺れ始めたら

- ・ 落下物から頭と手足を守る
- ・ 棚や窓、薬品等の危険物から離れる
- ・ 可能であれば、扉を開け避難経路を確保する
- ・ 実験室にいる場合は、可能な稼働中の機器を停止し、ガス、電気を遮断する



揺れが収まったら

- ・ 周囲の状況を確認し、身の安全を確保する
- ・ 余震に注意し、しばらく様子を見る
- ・ 作動中の実験器具等の停止
- ・ 校内放送に注意を払う
- ・ 避難場所、避難経路について、教室等の掲示物を確認する(避難場所・経路図を参照)

緊急避難場所に避難

- ・ 教員や校内放送の指示に従い、落ち着いて避難する
- ・ 避難時はエレベーターは使用せず、周囲の危険(地盤の液状化、建物の倒壊等)に注意する

帰宅の判断

- ・ 状況が落ち着いたら、交通機関の運行状況や帰宅経路・距離等の状況を踏まえ、帰宅の可否を判断する(徒歩による移動可能距離は、1時間で3~4km、1日で20kmが目安)
- ・ 帰宅困難な場合は大学が開設する一時避難場所へ避難する

※授業時等の対応

- ①授業中に震度5強以上 ➡ 授業を打ち切り、避難する
- ②夜間・休日に震度5強以上 ➡ 研究・実験・課外活動中の学生は、一時避難場所に避難する
- ③震度5弱以下 ➡ 状況に応じて①②に準じて行動する



安否確認システム(ANPIC)

- ◆ 本学では、緊急事態対応のため安否確認システム「ANPIC」を導入しています。
- ◆ 関東地域で震度5強以上の地震が発生した場合、教務システム(CampusSquare)に登録されたメールアドレスに安否確認のメールが配信されます。安否確認は、行方不明者の早期発見や、授業再開時期の決定など、大学の機能を速やかに復旧するための重要な情報となりますので、安否状況の報告にご協力をお願いいたします。
- ◆ 災害時に備え、確実に受信できるメールアドレスの登録をお願いいたします。

安否確認メール画面

(件名) 【埼玉大学】安否状況をお知らせください

(本文) 埼玉大学 XXX XXXX様
地震が発生しました。
以下のURLをクリックして、安否状況を報告してください。(Report your condition here:)
<https://anpicXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX>
地震の詳細については以下のとおりです。
(※以下省略)

URLをクリック

安否状況報告画面

本人の安否 ☐ 無事 ☐ 軽傷 ☐ 重傷 ☐ その他

現在地 ☐ 自宅 ☐ 学内 ☐ 帰省先 ☐ 実習先 ☐ その他

コメント

キャンセルする 安否状況を報告する

「本人の安否」「現在地」の該当箇所をクリック

連絡事項がある場合はコメント欄に入力

報告ボタンをクリックして報告完了

【緊急時連絡先】

平日

◆大学院人文社会科学研究所支援室

- ◇大学院係 048-858-3320
- ◇教養学部係 048-858-3044
- ◇経済学部係 048-858-3286

◆教育学部支援室

- ◇教育学部係 048-858-3144

◆大学院理工学研究科支援室

- ◇理工研係 048-858-3430
- ◇理学部係 048-858-3345
- ◇工学部係 048-858-3429
- ◆保健センター 048-854-5356

休日・土曜・夜間

- ◆正門守衛所 048-858-3006

緊急避難場所・経路図

Evacuation Sites and Route Map



A~T 緊急避難場所
Evacuation Site

→ 避難経路
Evacuation Route

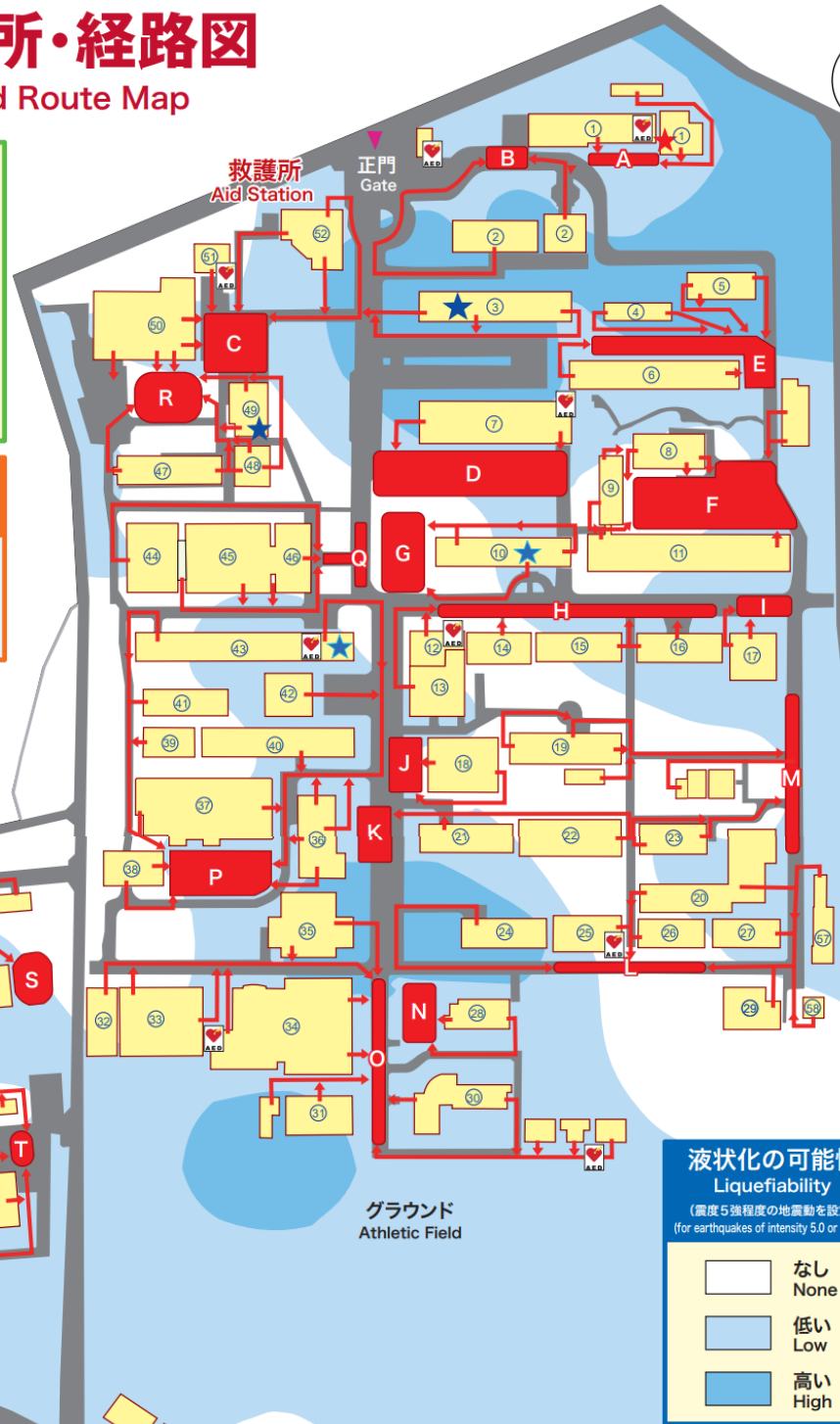
★ 危機対策本部
Emergency Center

★ 部局災害対策室
Departmental Emergency Center

📍 AED 設置場所
AED available

建物の耐震性
Structural Resistance of
Buildings for Earthquakes

🟡 耐震性が確保されている
建物
Buildings that have adequate
resistance to earthquakes



液状化の可能性
Liquefiability
(震度5強程度の地震動を設定)
(for earthquakes of intensity 5.0 or above)

🟡	なし None
🟡	低い Low
🟡	高い High

- | | | | |
|----------------------------------|--|--------------------------------|--------------------------|
| A ① 本部棟(事務局) ★ 📍 | H ⑫ 工学部情報工学科棟 📍 | L ⑳ 工学部環境社会デザイン学科第2実験棟 | P ③⑧ 教育学部 H 棟 |
| B ② 研究機構棟 | ⑬ 大学院理工学研究科棟 | ㉑ 工学部環境社会デザイン学科3号館 | ③⑨ 総合研究棟 2号館 |
| C ③ 教養学部棟 ★ | ⑭ 工学部電気電子物理工学科棟 2号館 | ⑤⑦ 工学部環境社会デザイン学科第3実験棟 | ④⑩ 教育学部 B 棟 |
| ⑤⑩ 第2食堂 | ⑮ 工学部電気電子物理工学科棟 1号館 | ⑤⑧ 納品検収センター | ④⑪ 総合研究棟 3号館 |
| ⑤⑪ 保健センター 📍 | ⑯ 工学部講義棟 | M ⑰ 工学部機械工学・システムデザイン学科棟 | ④⑫ 教育学部 C 棟 |
| ⑤⑫ 大学会館 | I ⑰ 情報メディア基盤センター
・科学分析支援センター | ㉒ 工学部電気電子物理工学科棟 3号館 | ④⑬ 教育学部 A 棟 ★ 📍 |
| D ⑦ 全学講義棟 1号館
(学生センター) | J ⑱ 総合研究棟 1号館 | ・応用化学科棟 3号館 | Q ④④ 図書館 2号館 |
| E ④ 全学講義棟 3号館 | K ㉑ 工学部応用化学科 2号館 | N ㉒ オープンイノベーションセンター研究棟 | ④⑤ 図書館 1号館 |
| ⑤⑥ 全学講義棟 2号館 | ㉒ 工学部応用化学科 1号館 | ③① 武道場 | ④⑥ 図書館ラーニングcommons |
| ⑥ 教育機構棟 📍 | L ㉒ 工学部実習工場・研究実験棟 | ③② 弓道場 | R ④⑦ 経済学部研究棟 |
| F ⑧ 理学部 3号館 | ㉒ 工学部環境社会デザイン学科 2号館 | ③③ 第1体育館 | ④⑧ 経済学部 B 棟 |
| ⑨ 理学部講義実験棟 | ㉒ 工学部環境社会デザイン学科
1号館 📍 | ③④ 総合体育館 📍 | ④⑨ 経済学部 A 棟 ★ |
| ⑪ 理学部 1号館 | ㉒ 工学部環境社会デザイン学科第1実験棟 | ③⑤ 第1食堂(けやきホール) | S ⑤③ 国際交流会館 1号館 📍 |
| G ⑩ 理学部 2号館 ★ | | P ③⑥ 教育学部コモ1号館 | ⑤④ 国際交流会館 3号館 |
| | | ③⑦ 教育学部 D 棟 | ⑤⑤ 国際交流会館 2号館 |
| | | | T ⑤⑥ 学生宿舎 📍 |